

繁殖期調査

街なかでのチョウゲンボウの繁殖観察日記 <抜粋>

2014年4月～7月 杉並区内

樋口 良市

4月5日 杉並区内の鉄道の駅前のビルの上から聞きなれない鳥の音がする。数年前から気になっていたのだが、謎の鳴き声の鳥をようやくつきとめた。チョウゲンボウだ。駅前ビルのローマ字の大きな文字看板に2羽止まって交尾していた。ハシブトガラスと争っていたが、繁殖は成功するのだろうか心配だ。

4月26日 6羽のハシブトガラス相手に1羽のチョウゲンボウが大奮闘。多勢に無勢、勝ち目がなにかビルの鉄板の隙間に入り込む。巣は鉄板の隙間の奥にあるようで、カラスはでかくて入れない。

5月18日 久しぶりにチョウゲンボウのつがいが見張りの場所にとまったが、もしかして抱卵していた卵が孵化したのかな？

5月22日 朝4時29分、雄が狩りに出かけた。獲物を持って帰ってきたのは52分。足でつかんでいる獲物がはっきり目撃できたが、正体はわからない。獲物を巣のある場所に運ぶと、キィキィキィと鳴いて、雌に獲物の受け取りを催促している。獲物を渡すと雄は再び狩りに出かけた。

5月30日 朝4時10分に現場に着いた。雌が巣から飛び立ち、何時もの見張り台にとまったのは19分だった。雄が南の方角から飛んできて見張り台にとまったのが22分で、23分に狩りに出かけた。34分に雄が獲物を運んできて雌に渡した。獲物は小鳥だった。雌が獲物を啄ばむつどに獲物の羽が飛び散り、獲物の尾羽もはっきり見えた。5時10分頃現場を後にした。

6月3日 朝4時20分頃、いつもの見張り台の上にチョウゲンボウが2羽。5時10分頃雄が獲物を運んできた。ここからがいつものと様子が違い雌は獲物を持ったまま巣のある場所に向かって盛んに鳴く。巣の中にいる幼鳥に対して、巣立ちを促しているようだ。

6月5日 朝4時15分、雄はすぐ狩りに出かけたようだが、雌はそのまま見張り台に残り羽繕いをしていた。時々、ハシブトガラスを執拗に攻撃する。1回だけであるが、巣のある場所の奥から幼鳥が出た。幼鳥は落ち着きなく周りをキョロキョロ見



チョウゲンボウの親子 (武田和夫氏撮影)

渡していたがすぐに引っ込んでしまった。

6月8日 朝4時48分に現場に着いたがドシャ降り。5時24分、雨がようやく小降りになると、見張り台にチョウゲンボウが現れた。それに呼応するかのように入りに幼鳥が姿を見せた。巣の入り口に幼鳥が2羽並んでいるが、いつまでも餌を持ってこない親鳥にキィキィキィと鳴いて騒ぐ。こんな天気では狩りも困難なようだ。

6月10日 見張台の上にチョウゲンボウの親鳥が2羽、ビルの上に幼鳥が1羽見える。そして巣のある場所に幼鳥が1羽残っている。親鳥は盛んに鳴きながら、巣に残っている幼鳥の巣立ちを促している。しかし、朝4時15分から6時まで観察したが、親鳥は巣の幼鳥に餌をまったく運ばない。

6月13日 朝4時7分、見張り台の右端にチョウゲンボウの幼鳥が2羽並んでとまっていた。幼鳥はこの見張り台の上をめぐらしているようだ。

7月2日 朝4時22分に現場に着く。チョウゲンボウはいない。しばらく待ったが出てくる気配がないので帰ろうとしていたところ、40分に南の方から飛んできたチョウゲンボウが何時もの見張り台にとまった。それを追うようにもう1羽飛んできて見張り台にとまったが、先にとまったチョウゲンボウは追われるように飛び去った。どうやら幼鳥が獲物をせがんで親鳥を追っかけまわしているようだ。……報告はここまでで、2羽の若鳥は無事に旅立ったとのこと。20年前から東京の市街地で繁殖し始めた「都市鳥・チョウゲンボウ」。23区内の街中での子育ては今後増えていくのでしょうか？